

あいちの印刷

8

2012.8
No.489



富良野の夏景色

もくじ

巻頭言 「現状を把握して安心を備えよう」 ／組織・共済委員長 岩瀬 清	3
平成24年度7月理事会・支部長会	4
中小印刷業の労働安全衛生管理	6
厚生労働省／胆管がん発症結果公表	8
日本印刷産業連合会／第1回「労働衛生協議会」 中部地区印刷協議会	8
平成24年度上期会議(三重県会議)	10
平成24年度の 従業員・家族合同レクリエーション大会	12
愛印工組「中小企業メンタルヘルス 対策取組事業」について	12
身近な催し物のお知らせ	13
光文堂「第49回光文堂新春機材展」出展申込を 開始／愛知県印刷産業団体連絡会の 2012年度版会員名簿完成／事務局だより	14

巻頭言

「現状を把握して安心を備えよう」

組織・共済委員長 岩瀬 清

2011年度の日本経済は、昨年3月11日に発生した東日本大震災によって大きな影響を受けました。震災直後に落ち込んだ個人消費は、地デジ対応商品などの需要や東日本大震災からの復興需要などもあり、国内総生産はプラス成長となりました。しかし震災と急激な円高や欧州債務危機等により輸出が減少し、さらに原子力発電所の停止に伴い原油等の輸入が増加したことによって、貿易収支は過去最大の赤字となりました。先日の九州豪雨も大変な被害があり、「平成24年7月九州北部豪雨」と命名されました。

こうした厳しい環境にあって、今こそ経営者は社員の将来をどう構築するか考えなければなりません。組合は、様々な保険会社と取引があります。その保険会社は、個別の会社や個人に不測の事態に備える保障を提供すると同時に、組合の運営に欠かせない存在になっています。組合員企業のニーズに応じた様々な保険を低価格で用意しております。予期せぬ災害や事故があっても保険に加入していれば、継続して事業が出来ます。現在加入してみえる保険の見直しも含め、是非この機会に保険の加入についてご検討をお願い申し上げます。

今年度より各保険会社に協力を仰ぎ、生涯設計プランの開発提供を致します。

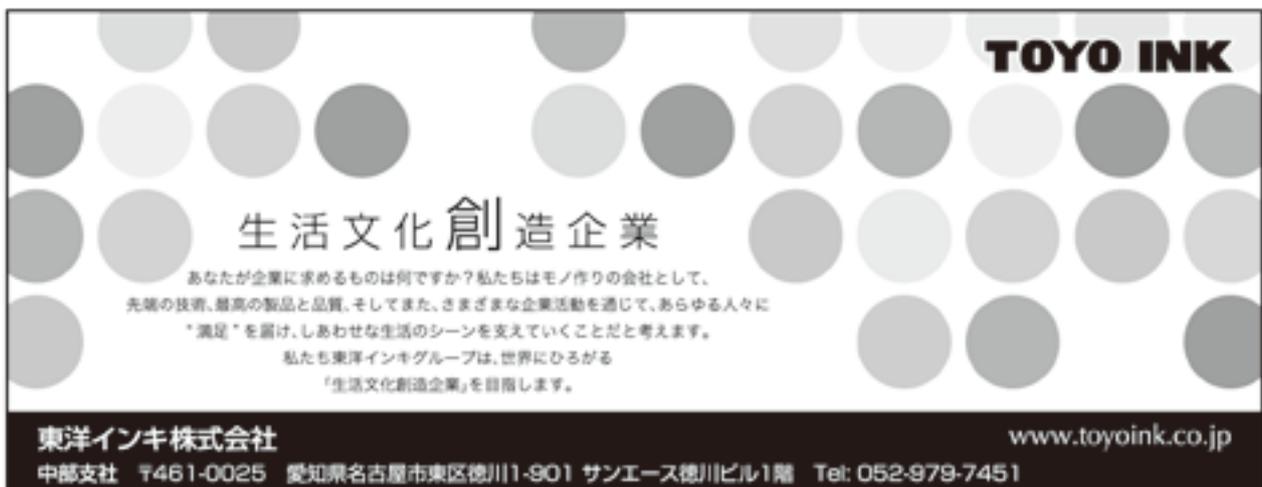
〈生涯設計とは…〉家族・仕事・健康・夢…。人にはどうしても守りたい、かけがえのないものがあります。そして人生の中で様々な不安と向き合う時があるのもまた事実です。そんな人生のあらゆるシーンに備える為に、私たち共済委員会がお役に立つ事を見極め一生にわたる生涯設計を共済委員会と共に考え提供して参ります。

昨今は社会環境の変化やライフサイクルの多様化に伴い 費用のかけ方、配分の優先順位などが大きく変わっており、個人の考え方によって異なります。

単に他人の真似をするのではなく、自分自身の夢や目標を実現させる為に将来の見きわめをどのようにしていきたいのか、その為にはどのようにするべきなのかをしっかりと考え、描いていく事が極めて重要です。収支状況を踏まえ、具体的な人生計画とマネープランを立て実行する。すなわち生涯設計を実行していくことです。

①現状認識して、②将来を見通し、③リスクを確認し、④具体的に実行し、①から④を定期的に行う。

以上組合員の皆様とともに組合運営を遂行して参りますので、ご協力の程宜しくお願い致します。



TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社 www.toyoink.co.jp
中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市中区徳川1-901 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451

愛知県「中小企業のメンタルヘルス対策取組事業」受託

第3回ポスターグランプリ作品展開催

平成24年度7月理事会（第4回）・支部長会（第1回）が、7月19日午後3時30分よりメディアージュ愛知において29名の出席者を得て開催されました。理事会では、平成24年度事業（北海道で開催の全日本印刷文化典、恒例のレクリエーション大会、第3回目を迎えるポスターグランプリなど）を中心に報告が行われました。さらに、愛知県より委託のあった「中小企業メンタルヘルス対策取組支援事業」について、その経緯が報告されました。また、支部長会では、事務局の盆休み、緊急時の連絡先などが公表されました。

【社員のメンタルヘルス対策事業の取組】

理事会は、加藤修専務理事が司会を務め、冒頭、木野瀬吉孝理事長が次のように挨拶。

「梅雨明けと同時に滅茶苦茶暑くなりました。天地異変の兆しかもしれませんが、気候ばかりでなく政治も混沌としております。このような状況ですが、我々でできることはまだまだ沢山あると思います。いろいろなことを皆さんと相談しながら、きちんとやっていきたいと思っております。

今日も、いろいろと議論をしていただきます。委員会活動、支部活動などを報告していただきますけど、それぞれにおいて活発な活動をしていただいております。本当にありがたく感謝申し上げます。先日、私は岡崎支部で話をさせていただいて、明日は豊橋にお邪魔します。来週は、中、東北、東尾張において3支部合同で鳥原副理事長がCSRについてセミナーを行います。講師の派遣を依頼したいとお考えでしたら、オファーしてください。酒井委員長も講師を依頼され、お話をされるそうです。どんどん依頼をしていただいで結構です。大いにこき使って下さい。そして、情報交換をしながらさらに良い方向へ向かっていきたいと思っております」。

この後、木野瀬理事長を議長に審議に入りました。

■組合員加入・脱退の件

加入なし。脱退3社。その結果、組合員総数264社となりました。

■愛知県「中小企業のメンタルヘルス対策取組支



挨拶する木野瀬理事長

援事業」受託の件

酒井良輔労務・新人教育委員長が説明に立ち、「愛知県の事業になりますが、『中小企業のメンタルヘルス対策取組支援事業』の委託を受け、労務・新人教育委員会が担当して取り組むことになりました。どのような事業なのか、端的に申し上げますと、“自殺予防”ということです。今、ポスターとか冊子を当委員会でもとめております。

少し具体的にお話してみます。最近、勤労者の心の病として、うつ病、自殺問題、若年労働者問題、パワーハラスメントなどがあり、社会的問題となっています。その対策のために、組合員の皆さんに啓蒙とメンタルヘルスに関するセミナーなどを開催するものです。先日、大同特殊鋼で産業医をしてみえます齊藤政彦先生にお会いし、講師の受託をいただきました。産業医という観点からメンタルヘルスに関するお話をさせていただき、経営者の皆さんが、社員のメンタルヘルスに関して関心を持っていただくとともに、早期発見、早期予防に繋がればと思うわけです」と概要を報告。

なお、8月21日(火)と9月6日(木)にセミナーの開催を予定しています。

この件に関し、木野瀬理事長が補足説明に立ち、「この事業は、愛知県から100万円の事業費をいただいで行うものです。これは、企画提案書を加藤専務の方でまとめてもらい、委員長、副委員長が同行してプレゼンを行い、何件かの競合がありました。勝ち取った事業です。ここにメンタルヘルスケアに関する資料があります。1,000人以上の企業では75.4%がすでに取り組んでいます。50人以下の企業

になりますと30%～20%台になります。仮に、従業員が病に掛かったとき、会社の損失が442万円と出ています。欠員補充までの残業代とか、代替人員の採用コスト、不慣れなための研修コストなどを含めると、これだけの損出が発生します。我々経営者として、気をつけねばならないことだと思います。

私事ですが、うちの社員にいつもいっていることは、“社員の中の1割がメンタルクリニックに通っている会社を目指したい”ということです。つまり、あたり前にクリニックにいける環境づくりが必要になってきます。実際に何人か通っていますが、これは非常に喜ばしいことだと逆に思っています。セミナー開催時には是非出席をし、メンタルヘルス対策について知識を得ていただきたい」。

■平成24年度委員会事業の件

- 組織・共済委員会－岩瀬清委員長報告
- 経営革新委員会－木村吉伸委員長報告
- マーケティング委員会－鬼頭則夫委員長報告
- 教育委員会－岡田副理事長報告
- 労務・新人教育委員会－酒井良輔委員長報告
- 青年会－箕浦靖夫名古屋而立会会長報告

それぞれの委員会から今後の事業予定が報告されました。（なお、8月10日までに終了しました事業については、省略しました）。

〈今後の事業予定〉

①鉛・有機溶剤取扱者健康診断（前期）＝検診委託先：(社)オリエンタル労働衛生協会、(財)名古屋公衆医学研究所／受診申込みの際にいずれかを選択。日時：平成24年4月～9月、場所：受診申込み各事業所、申込み：随時。

②技能検定試験〔学科試験対策学習会〕＝日時：8月25日(土)13時30分～16時30分、場所：メディアージュ愛知、受講料：1人4,200円、※学科試験受検者を先行受付後、定員に余裕がある場合に受検者以外に案内。

③全印連特別ライセンスプログラム更新説明会＝日時：8月28日(火)15時～17時、場所：メディアージュ愛知、対象：第一期契約者。

④2012全日本印刷文化典北海道大会＝日時：9月20日(木)～22日(土)、記念式典は21日14時、記念講演は16時30分、記念パーティは18時30分、場所：札幌パークホテル。

⑤従業員・家族合同レクリエーション大会＝日時：9月30日(日)、場所：掛川城と城下町ウォーキング、掛川花鳥園、参加費：大人1人3,500円、小人



2,500円、定員：200名。（詳細は12ページ参照）

⑥第3回ポスターグランプリ＝応募作品受付期間：8月20日(月)～9月5日(水)。

〔入賞・入選作品展〕 日時：10月16日(火)～21日(日)10時～18時（19日(金)は20時まで、最終日は15時まで）、場所：愛知県美術館8階ギャラリー「展示室E・F」

〔入賞者表彰式〕 日時：10月21日(日)10時30分～12時、場所：愛知芸術文化センター12階「アートスペースA」

⑦企業見学会＝11月の土曜日・日帰りでの実施を調整中。

⑧永年勤続優良従業員表彰＝日時：11月1日(木)、場所：各事業所（※詳細調整中）。

⑨平成25年新春新年互礼会（記念講演会と祝賀会）＝日時：1月16日(水)、場所：名古屋東急ホテル、講演会講師：島村博之全日本印刷工業組合連合会会長（※他は詳細調整中）。

⑩平成25年第2回Adobe CSテクニカルセミナー＝日時：1月23日(水)10時～17時、場所：ウインクあいち、参加費：全印工連特別ライセンス購入数の人数まで無料。それ以上の人数及び未購入者1人5,000円。

〈中部地区印刷協議会〉

去る6月15、16の両日に開催されました中部地区印刷協議会上期会議の報告が行われました。

①経営革新・マーケティング分科会／細井俊男副理事長、②環境分科会／鳥原久資副理事長、③組織・共済分科会／岩瀬清委員長、④教育・労務分科会／酒井良輔委員長、⑤取引公正化分科会／吉川正敏副委員長、理事長会／木野瀬理事長がそれぞれ報告しました。（中部地区印刷協議会における分科会報告は10ページ参照）。

その他の件では、岡田邦義副理事長より提案のありました教育委員増員の件では、1名の追加が承認されました。

中小印刷業の労働安全衛生管理

有機溶剤中毒予防規則／特定化学物質障害予防規則の点検項目

化学物質が原因とされる胆管がんを元従業員が発症・死亡し、遺族が労災申請する事案が報道されました。法令を遵守し、従業員の健康と安全を守ることは企業の責務です。労働安全衛生管理上、溶剤の種類ごとの取扱いをまとめましたので、各社で点検して下さい。

(1) 有機溶剤中毒予防規則（有機則）／特定化学物質障害予防規則（特化則）の点検項目

ご使用の溶剤のMSDS（製品安全データシート）等で別表「有機則、特化則、がん原性指針に該当する化学物質一覧」の含有物質の有無を確認し、下記の項目を点検して下さい。

●有機則に該当する化学物質を含有する溶剤を使用している事業者

□有機溶剤を使用する事業者は、企業規模を問わず、「有機溶剤作業主任者」を選任し、有機溶剤の取扱い上の注意や人体に及ぼす影響を作業場に掲示し、色表示（第1種＝赤、第2種＝黄、第3種＝青）で管理する。また、労働安全衛生法上、従業員規模に応じて、安全衛生推進者、安全管理者、衛生管理者、衛生委員会、産業医を設置する。

□第1・2種有機溶剤を使用する際は、局所またはプッシュ型排気装置で排気を行う。排気装置がない場合は、作業者に保護具（送気・防毒マスク、保護手袋等）を着用させる。また、6か月毎に作業環境測定士による空气中濃度の測定や「有機溶剤健康診断」を実施し、労働基準監督署に診断結果報告書を提出する。（記録3年間保存）

□第3種有機溶剤を使用する際は、滞留を防ぐために全体換気装置で換気を行う。

●特化則に該当する化学物質を含有する溶剤を使用している事業者

□特化則溶剤を使用する事業者は、企業規模を問わず、「特定化学物質作業主任者」を選任する。また、労働安全衛生法上、従業員規模に応じて、安全衛生推進者、安全管理者、

衛生管理者、衛生委員会、産業医を設置する。

□第1・2種特化則溶剤を使用する際は、局所またはプッシュ型排気装置で排気を行う。排気装置がない場合は、作業者に保護具（送気・防毒マスク、保護手袋等）を着用させる。また、6か月毎に作業環境測定士による空气中濃度の測定や「特定化学物質健康診断」を実施し、従業員数50人以上の企業は労働基準監督署に診断結果報告書を提出する。（記録5年間保存）

●がん原性指針物質を含有する溶剤を使用している事業者 下記URLで点検して下さい。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/111108-1.html>

(2) GP認定製品（GP認定洗浄剤等）による代替の案内
日印産連では、GP資機材認定制度を2年前に開始し、本年6月現在でメーカー12社の262製品（洗浄剤、現像液等）をGP認定製品として登録している。GP認定製品は、特化則・がん原性指針対象物質を含んでおらず、有機則対象物質も一部の製品で第3種有機溶剤を含んでいるが、多くの製品が有機則・特化則・がん原性指針対象外である。

製品はホームページ(<http://www.jfpi.or.jp/greenprinting/system/index.html>)で公開している。

(3) 労働安全衛生に関する主な問い合わせ先

◆各都道府県労働局及び中央労働災害防止協会各地区安衛センター（労働安全衛生全般）

◆各都道府県労働基準協会（有機溶剤作業主任者・特定化学物質作業主任者の資格取得等）

◆各事業所の管轄の保健所（有機溶剤・特定化学物質健康診断の受診が可能な病院等）

（次ページに、有機則、特化則、がん原性指針に該当する化学物質一覧を掲げた。本化学物質一覧表は、日本印刷産業連合会ホームページにも掲載している。

<http://www.jfpi.or.jp>

GP認定製品一覧
(例)

製品区分	メーカー名	製品名	種類	安衛法(特化則、がん原性指針)	安衛法(有機則)
洗浄剤	●●株式会社	●●●●●●	ロー洗浄剤	非該当	非該当
洗浄剤	株式会社■	■	ブラケット洗浄剤	非該当	第3種有機溶剤

(別表) 有機則、特化則、がん原性指針に該当する化学物質一覧 (社)日本印刷産業連合会

有機溶剤中毒予防規則(有機則)対象物質

[労働安全衛生法施行令別表第6の2]

<第1種有機溶剤>

番号	物質名
1	クロロホルム
2	四塩化炭素
3	1,2-ジクロロエタン(別名二塩化エチレン)
4	1,2-ジクロロエチレン(別名二塩化アセチレン)
5	1,1,2-トリクロロエタン(別名三塩化アセチレン)
6	トリクロロエチレン
7	二硫化炭素

<第2種有機溶剤>

番号	物質名
1	アセトン
2	イソブチルアルコール
3	イソプロピルアルコール
4	イソペンチルアルコール(別名イソアミルアルコール)
5	エチルエーテル
6	エチレングリコールモノエチルエーテル(別名セロソルブ)
7	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(別名セロソルブアセテート)
8	エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル(別名ブチルセロソルブ)
9	エチレングリコールモノメチルエーテル(別名メチルセロソルブ)
10	オルト-ジクロロベンゼン
11	キシレン
12	クレゾール
13	クロルベンゼン
14	酢酸イソブチル
15	酢酸イソプロピル
16	酢酸イソペンチル(別名酢酸イソアミル)
17	酢酸エチル
18	酢酸ノルマルブチル
19	酢酸ノルマルプロピル
20	酢酸ノルマルペンチル(別名酢酸ノルマルアミル)
21	酢酸メチル
22	シクロヘキサノール
23	シクロヘキサノン
24	1,4-ジオキサソ
25	ジクロロメタン(別名二塩化メチレン)
26	N,N-ジメチルホルムアミド
27	スチレン
28	テトラクロロエチレン(別名パークロロエチレン)
29	テトラヒドロフラン
30	1,1,1-トリクロロエタン
31	トルエン
32	ノルマルヘキサン
33	1-ブタノール
34	2-ブタノール
35	メタノール
36	メチルイソブチルケトン
37	メチルエチルケトン
38	メチルシクロヘキサノール
39	メチルシクロヘキサノン
40	メチルノルマルブチルケトン

<第3種有機溶剤>主にタンク内作業での規制を受ける物質

番号	物質名
1	ガソリン
2	コールタールナフサ(ソルベントナフサを含む。)
3	石油エーテル
4	石油ナフサ
5	石油ベンジン
6	テレピン油
7	ミネラルスピリット(ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。)
8	前各号に掲げる物のみから成る混合物

特定化学物質障害予防規則(特化則)対象物質

[労働安全衛生法施行令別表3]

<第1類物質>

番号	物質名
1	ジクロロベンジジンおよびその塩
2	アルファ-ナフチルアミンおよびその塩
3	塩素化ビフェニル(別名PCB)
4	オルト-トリジンおよびその塩
5	シアニジンおよびその塩
6	ペリリウムおよびその化合物
7	ベンゾトリクロリド
8	1から4までに掲げる物を1wt%超含有し、または7に掲げる物を0.5wt%超含有する製剤その他の物(各案に於ては、ペリリウムを3wt%超含有する物。)

<第2類物質>

番号	物質名
1	アクリルアミド
2	アクリロニトリル
3	アルキル水銀化合物(アルキル基がメチル基またはエチル基である物に限る。)
4	エチレンジイミン
5	エチレンオキシド
6	塩化ビニル
7	塩素
8	オーラミン
9	オルト-フタロジニトリル
10	カドミウムおよびその化合物
11	クロム酸およびその塩
12	クロロメチルメチルエーテル
13	五酸化バナジウム
14	コールタール
15	酸化プロピレン
16	シアン化カリウム
17	シアン化水素
18	シアン化ナトリウム
19	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン
19-2	1,1'-ジメチルヒドラジン
20	臭化メチル
21	重クロム酸およびその塩
22	水銀およびその無機化合物(硫化水銀を除く。)
23	トリレンジイソシアネート
24	ニッケルカルボニル
25	ニトログリコール
26	パラ-ジメチルアミノアソベンゼン
27	パラ-ニトロクロロベンゼン
27-2	2に基およびその化合物(アルジンおよびヒカリウムを除く。)
28	ふっ化水素
29	ペータープロピオラクトン
30	ベンゼン
31	ペンタクロルフエノール(別名PCP)およびそのナトリウム塩
31-2	ホルムアルデヒド
32	マゼンタ
33	マンガンおよびその化合物(塩基性酸化マンガンを除く。)
34	ヨウ化メチル
35	酸化水素
36	塩酸ジメチル
37	1から36までに掲げる物を含有する製剤その他の物で、厚生労働省令(※)で定めるもの

<第3類物質>

番号	物質名
1	アンモニア
2	一酸化炭素
3	硫化水素
4	硝酸
5	二酸化硫黄
6	フェノール
7	ホスゲン
8	硫酸
9	1から8までに掲げる物を含有する製剤その他の物で、厚生労働省令(※)で定めるもの

労働安全衛生法第28条第3項の規定に基づき厚生労働大臣が定める
化学物質による健康障害を防止するための指針(がん原性指針)対象物質
[平成23年健康障害を防止するための指針公示第21号]

番号	物質名
1	アントラセン
2	2,3-エポキシ-1-プロパノール
3	塩化アリル
4	オルト-フェニレンジアミン及びその塩
5	キノリン及びその塩
6	1-クロロ-2-ニトロベンゼン
7	クロロホルム
8	酢酸ビニル
9	四塩化炭素
10	1,4-ジオキサソ
11	1,2-ジクロロエタン(別名二塩化エチレン)
12	1,4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン
13	2,4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン

番号	物質名
14	1,2-ジクロロプロパン
15	ジクロロメタン
16	N,N-ジメチルホルムアミド
17	テトラクロロエチレン(別名パークロロエチレン)
18	1,1,1-トリクロロエタン
19	ノルマルブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル
20	パラ-ジクロロベンゼン
21	パラ-ニトロアニソール
22	パラ-ニトロクロロベンゼン
23	ヒドラジン及びその塩並びにヒドラジン-水和物
24	ビフェニル
25	2-ブタノール
26	1-プロモ-3-クロロプロ

厚生労働省／胆管がん発症結果公表

厚生労働省／胆管がん発症

全国一斉点検の結果公表

全印刷事業場に自主点検を要請

厚生労働省は7月10日、印刷事業場における胆管がんの発症問題への対策として、全国561の事業場を対象に実施していた一斉点検の結果を取りまとめた。大阪、宮城の複数の胆管がん患者のほか、東京、石川、静岡の3事業場においても3人の発症が分かった。有機溶剤中毒予防規則の規制対象物質を使用していた事業場は494カ所、何らかの問題が認められた事業場は383カ所だった。

厚労省では、調査結果を受けて、法令遵守の徹底、有機系塩素洗浄剤のばく露低減化の予防的取り組み、相談窓口の設置などの対応策を講じ、さらに、全印刷事業所に自主点検を求めていく、としている。

■一斉点検の結果

【胆管がんの発症】

胆管がんを発症した者がいるとするのは3事業所3人（東京、石川、静岡）であり、大阪、宮城の事業所以外に、複数の胆管がん患者が確認された事業所はなかった。

【有機溶剤中毒予防規則の適用状況など】

561事業所のうち、有機溶剤中毒予防規則（急性の有機溶剤中毒を予防する観点からの規制）の規制対象物質を使用していた事業所は494カ所、こうした事業所のうち何らかの問題が認められた事業所は383カ所（77.5%）であった。

個別の項目ごとの違反状況は次のごとく。

①第一種又は第二種有機溶剤について、局所排気装置などが未設置＝143件。

②第三種有機溶剤について、局所排気装置などが未設置＝30件。

③有機溶剤作業主任者未選任＝120件。

④有機溶剤の人体に及ぼす作用などの未掲示＝149件。

⑤有機溶剤などの区分の未掲示＝186件。

⑥作業環境測定の未実施＝181件。

⑦特殊健康診断の未実施＝106件。

⑧呼吸用保護具の未使用＝121件。

【作業場所の状況】

外気と接していない地下室で作業を行なっている事業場はなかった。又、地下室と同視できるような空間で作業を行なっている事業場は9カ所あった。

また、作業環境測定を実施した201事業場の543作業場について、第一管理区分は402カ所、第二管理区分は94カ所、第三管理区分は47カ所だった。

※第一管理区分とは、作業環境が良好なもの、第二管理区分とは、作業環境の改善に努める必要があるもの、第三管理区分とは、直ちに作業環境の改善を講じる義務が生じるもの。

【使用化学物質】

第一種有機溶剤は11件、第二種有機溶剤は1,463件、第三種有機溶剤は404件。なお、ジクロロメタンを使用している事業場は152カ所、1、2-ジクロロプロパンを使用している事業場は10カ所であった。

■今後の対応策

【現行法令などの遵守の徹底】

何らかの問題が認められた事業場の割合が非常に高かったことを受け、全印刷事業場に対し、自主点検を実施させるとともに、未提出事業場を中心に説明会の実施や監督指導などで、現行法令の遵守を徹底する。

【有機塩素系洗浄剤のばく露低減化の予防的取り組み】

複数の労災請求のあった大阪と宮城の事業場では、労働者が高濃度の有機塩素系洗浄剤にばく露していた可能性が高いことから、脂肪族塩素化合物を用いて通風が不十分な場所で洗浄作業を行なう場合には、法令などの規制の対象になっていない場合でも、法令の規制と同様の措置をとるよう指導する。

■相談窓口の設置

厚生労働省では、職業性胆管がんに関する各種相談に対応するため、専用のフリーダイヤルを設ける。事業所の情報、労災請求の手続きなど、相談に応じる。

時間は、東日本、西日本とも、月曜から金曜の9時30分～12時と13時～16時。東日本のフリーダイヤルは0120-860-915、西日本のフリーダイヤルは0120-616-700。

また、具体的な症状など医学的観点から、産業保健の専門家からの相談体制も整備するため、専用のフリーダイヤルを設ける。時間は火、水、木曜13時～17時。番号は0120-688-224。

日本印刷産業連合会／第1回「労働衛生協議会

印刷業界の健康障害

防止対策実施計画決定

（社）日本印刷産業連合会（足立直樹会長）は、印刷事業所従業員の労働環境を改善し、「化学物質による健康障害防止対策の取り組み」の強化を図るために設置した労働衛生協議会（岩崎好陽委員長／公益社団法人におい・かおり環境協会会長）の第1回目の会議を、7月12日印刷会館で開催した。

日産連では、校正印刷会社従業員の胆管がん発症問題を

重く受け止め、5月下旬から6月にかけて実施した会員企業の実態調査結果を踏まえ、学識経験者、労働安全専門委員、印刷業界団体委員、印刷業界団体・メーカー委員計26名で構成する第1回労働衛生協議会を開催し、次の5項目の活動を行なっていくことを決定した。

(1)印刷業界内の労働衛生関連の実態把握と課題抽出

日産連で実施したアンケート調査結果の分析と厚生労働省の実態調査結果の整理を行ない、施策・啓発のための基礎資料とする。

(2)印刷事業所の労働衛生法令遵守と健康障害防止策の検討

印刷事業所の実態を踏まえた労働衛生法令遵守のための具体的措置と、健康障害リスク回避のための防止策を検討する。

- ①工程別の労働衛生法令順守のための具体的措置の検討、
- ②化学物質からの健康障害防止策（リスクアセスメント）の検討、
- ③科学物質を含んだ印刷資材の情報収集、情報発信方法の検討、
- ④印刷事業所に適した排気装置や保護具などの検討、
- ⑤印刷機械、印刷関連機器などのばく露防止策のあり方検討、
- ⑥印刷事業所からの相談対応方法の検討、
- ⑦GP認定制度（工場認定、資機材認定）活用の推進。

(3)印刷事業所への労働衛生法令遵守と健康障害防止策の啓発

上記の結果を反映させた事業所配布用パンフレットを作成し配布する。周知のためのセミナー、勉強会を全国規模で基礎から具体的施策まで段階を追って展開。国などの施策との連携を図りつつ、非会員企業への啓発も視野に入れる。

- ①周知用パンフレット（事業所用）配布＝全事業所用として分かりやすいパンフレットを作成。WEBでも配信する。
- ②労働衛生セミナー、勉強会などの企画・開催。
- ③国などの施策と連携した啓発活動の実施。
- ④非会員企業への施策検討。

(4)社会的不安の解消と印刷業界信頼回復に向けた施策の検討

各種報道で社会的不安が広がっているため、協議会検討内容を随時情報公開していくとともに、従業員・家族・周辺住民

などに向けたパンフレットを作成する。

(5)活動結果の評価と次年度以降の展開策の検討

具体的には、7月27日より全国7ヶ所で「印刷事業所における労働安全衛生対策セミナー」を実施し、印刷事業所向け啓発・対策パンフレット並びに従業員・従業員家族向けパンフレットの作成、配布を行っていく。さらに、GP認定制度の活用、印刷事業所に適した排気装置・保護具の使用、安全性の高い資材の選択など、具体的な健康障害防止対策を検討し、印刷業界内（非会員企業を含む）に広く周知していく。また、年度末には、活動結果の評価（会員企業への改善度合いなど実態調査）を行なう予定でいる。

化学物質取り扱いに関する調査結果

日産連は、校正印刷会社従業員の胆管がん発症問題の報道を受け、予防的観点から会員団体、会員企業に対し、健康障害防止対策を周知することを目的に実態調査を実施。7月12日開催の第1回労働衛生協議会において報告された。

同調査は、労働局がアンケートを実施した大阪地区の印刷事業者1,000社を除く、日産連傘下10団体8,270社にアンケートを依頼し、2,688社が回答（回収率33%）。その集計結果によると、有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質障害予防規則、ガン原性指針（平成23年健康障害を防止するための指針公示第21号）に該当する化学物質を使用している事業者が1,941社（有効回答数の74%）あったことが確認された。

また、これらの化学物質を使用している事業者の労働安全衛生法に基づく処置の実施については、同法で定められている各種項目別に見て、「安全衛生管理組織の設置」が、その実施が必要と定められた事業者数に対する実施事業者の割合で71%と一番高く、「局所排気装置の設置」は同29%、「作業環境測定」は同25%にとどまった。なお、事業所規模（従業員数）が小さくなるほど実施率が低くなる傾向が同調査によって明らかになった。

愛知県印刷技能検定使用機種

OLIVER 466SD

菊半裁4色印刷機

LED-UV搭載可能

最高印刷速度16,100回転

高品位印刷を実現する倍径圧胴、
逆くの字調配列を採用した
正菊半サイズの省スペース機

大好評! オリバー-SD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種



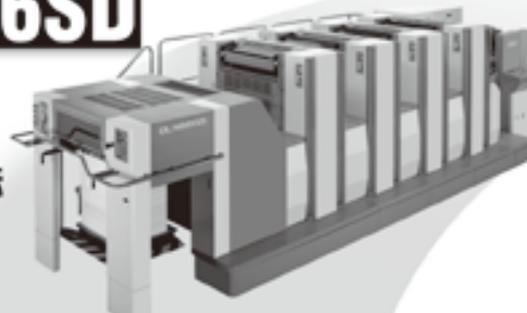
株式会社 桜井クラフティングシステムズ
TEL: 0575 33-1131 (F) FAX: 0575 33-1138

中津事業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL: 0575 35-2571 (F) FAX: 0575 35-2681

大阪事業所
〒532-0912 大阪府淀川区東中津3-4-21
TEL: 06 6508-6651 (F) FAX: 06 6508-6679

九州事業所
〒810-0051 福岡市中央区天神5-5-8
TEL: 092 741-2572 (F) FAX: 092 741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL: 0575 33-1260 (F) FAX: 0575 33-3146





吉田克也石川県工組副理事長



土井弘人三重県工組副理事長



須垣貴雄富山県工組理事

中部地区印刷協議会平成24年度上期会議（三重県会議）

分科会（経営革新・マーケティング、環境、組織・共済、教育・労務、取引公正化、理事長会）報告

中部地区印刷協議会平成24年度上期会議(三重県会議)での、分科会報告を詳報します。
(全体会議については先月号参照)

■経営革新・マーケティング分科会＝報告／吉田克也副委員長（石川県工組副理事長）

経営イノベーションの研究では、経営ドック、羅針盤セミナー、経営羅針盤セミナーを行ってきた。また、経営クリニックという少し経営ドックを簡素化したものを検討中で、現在、東印工組のメンバーを中心にワークブックを作成している。

愛知県工組では、いろいろなセミナーを開催しているが、できれば収益の上がるような、有料でもたくさん参加者が集まるようなセミナーを行っている。また、印刷寺小屋という勉強会を行っている。三重や岐阜にも声をかけて開催している。さらに、日帰りではあるが企業の見学会を行い、かなりの参加者がある。

三重県工組は、予算の制約もあるので、愛印工組のセミナーに積極的に参加している。

岐阜県工組では、現在、MUDとかCSRをどのように取り組んでいくか検討中である。

富山県工組では、委員長が若手に交代したことで、これから具体的に事業のメニューを決める。

石川県工組では、単なる営業マン教育セミナーではな

く、営業マンが販促プランナーとしての役割を果たせるよう、7月から5回シリーズのセミナーを開く。

■環境分科会＝報告／土井弘人委員長（三重県工組副理事長）

GP（グリーンプリンティング）認定制度の普及推進、ISO14001ネット取得支援、各種環境セミナーの開催、また、環境関連法令・労務関連法令について、グリーン購入法、水質汚濁防止法、育児・介護休業法などで改正があり、その周知徹底に務めていく。

GP認定や環境ISOについては、すでに取得している委員から、取得は、企業のランディングという意味で大切である、との意見。環境ISOについては、取得支援だけではなく、取得後の維持についても、何かの支援が欲しいとの要望。

校正印刷業元従業員の胆管ガン発症については、自社の職場管理を見直し、社員のための環境対策の強化が必要であることを確認した。

■組織・共済分科会＝報告／須垣貴雄委員長（富山県工組理事）

共済キャンペーンの推進について、岐阜県工組では、

**PP貼りサービス始めました
PP貼りだけの仕事やります**

制作から印刷・製本・発送まで自社一貫体制

- ◎カラーもモノクロもページもの印刷得意です
- ◎菊全シルバースターでのページもの印刷もできます
- ◎厚紙パッケージ菊全4色印刷始めました

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)

幸田工場 額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔46-1 FAX:0564/62-8463

- 印刷機械
- 製本機械
- 製本機械
- DTP関連機
- 印刷塗材料
- データ制作
- オンデマンド印刷
- データ出力

お役に立てる
印刷関連
総合商社

株式会社 **盛功社**

〒481-0014 名古屋市中区栄区栄町3丁目17番地
TEL 052-632-5611 FAX 052-631-0280
http://seikoko.net.jp/

120余年の伝統に
培われた信頼と
先進の
テクノロジー



酒井良輔愛知県工組理事



鈴木岳志岐阜県工組理事



永野博信石川県工組理事長

委員長と支部長が協力し企業訪問を行い、実績をあげた経験談を報告。委員長一人で組合企業を回りきることは難しく、支部長の協力が不可欠である。まず、支部長が自身の支部で、ターゲットとなる組合員企業を明確に把握し、委員長とともに訪問することが最適との意見。

共済には、「生命共済」、「せつび共済」、「医療共済」があるが、企業の内容により奨める中身が違ってくるので、各企業の実態に即した奨め方をしていくことが重要になる。

全印工連の機関誌「日本の印刷」について、さまざまな統計資料の掲載があるが、分析結果を載せるなどして、より分かりやすい内容にすべきだ、との意見があった。

■教育・労務分科会=報告／酒井良輔副委員長（愛知県工組理事）

本日の午前中に行われた「見える化セミナー」は大変有意義な内容であり、大変参考になった。社内の原価管理を見える化し、利益の得る企業体質にすることの大切さを学ぶことができた。

全印工連特別ライセンスプログラム事業の推進では、アドビシステムの認証制度の説明を受けた。また、7月24日名古屋市の「ウィンクあいち」で「CS6・0のバージョンアップセミナー」を開催する。さらに、特別ライセンスプログラムへの参加会社を、違法コピーを行わず、ソフト著作権を遵守するCSR実践企業として、認証する取り組みが進められている。

■取引公正化分科会=報告／鈴木岳志委員長（岐阜県工組理事）

愛知県工組では、県の定時見積発注印刷物において、落札した各社は積算内訳を公表することにより、ダンピ

ングをなくしていく。それをベースに、最低制限価格制度導入に向けて取り組んでいる。

石川県工組については、最低制限価格制度の要望書は提出しているが県側との交渉は平行線である。しかし一方で、金沢市ではすでに最低制限制度の導入を果たしている。

富山県工組においては、契約形態がいまだに物品購入であり、製造請負への移行が進んでいない、という状況。どのように打開していくか、現在、検討中である。

岐阜県工組では、昨年9月から最低制限価格の導入を果たしているが、制度をより安定的に実行していく上で、発注仕様書を作りなおした。その結果、すでに新たな仕様書が採用され、全印工連の官公需協議会でモデル仕様書として全国に推奨された。また、現状、予定価格（100万円以上）の60%を切る見積り額は失格としているがこのパーセンテージを引き上げるよう務めていく。さらに、市町村への最低制限価格制度導入の働きかけを進めている。

三重県工組では、4月に県で最低制限制度導入がされた。6月に始めて、大型案件780万円の入札を終えたという報告。今後、100万円以上70%との設定を改正、改善できるように働きかけていく。

いずれにしても、適正な経営努力の下でのコストダウンという意味での競争と、ただただ受注を目的とする価格破壊、ダンピングによる過当競争をしていくという、大きな違いをどのように明確にできるかということが大切になってくる。その中で、最低制限価格制度の導入ということは、一つの手段として有効であるということが確認できた。

■理事長会=報告／永野博信石川県工組理事長

9月に開かれる印刷文化典北海道大会について、全印工連のフォーラムが9月21日に行なわれるので必ず出席をして欲しい、との要請。

競り下げ方式導入に対する反対の動きで、愛知県工組では、要望書を国会議員全ての人に手渡している。

愛知県工組は、メンタルヘルス対策支援の受託事業を進める県の要請を受け、印刷会社に勤める従業員を対象に、心の病対策セミナーを開く。

紙でご愛顧65年

印刷用紙専門商社

メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市東区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418
豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL.(0566) 28-2049

■平成24年度の従業員・家族合同レクリエーション大会

「掛川城と城下町ウォーキングと掛川花鳥園」
日帰りバス旅行

本年度の従業員・家族合同レクリエーション大会は、山之内一豊も城主を務めた静岡県掛川市にある掛川城と城下町をウォーキングし、掛川花鳥園でふくろうやペンギンとのふれあい、さらには、国内最大規模の睡蓮を見学します。昼食はバイキングを楽しむ日帰りバス旅行を企画しました。城下町のウォーキングや鳥と花とのふれあいを存分に楽しんでください。早期に定員に達すると考えられますので、申し込みは早めをお願いします。

【行程表】

集合・栄(テレビ塔北駐車場)8:00=浜名湖SA=掛川IC=10:00掛川城と城下町ウォーキング=掛川花鳥園(昼食・バイキング)=14:30焼津魚センター=最寄IC=新東名自動車道:ネオパーサ浜松=栄到着・解散18:30

- ◆日時 平成24年9月30日(日)雨天決行
- ◆参加費 大人1名 3,500円(中学生以上)



小人1名 2,500円(小学生以下)、但し、昼食と座席が不要な乳幼児は無料。

※参加費には昼食代を含んでいます。

- ◆参加人数 240人 ※先着順に受け付けます。
- ◆申込締切日 8月31日(金) ※定員になり次第締切ますので、早めの申込をお願いします。
- ◆主催 愛知県印刷工業組合(労務・新人教育委員会)
- ◆協賛 全国印刷工業健康保険組合東海支部

【問い合わせ・申し込み先】

愛印工：TEL052(962)5771、FAX052(951)0569(担当：高屋)

※申込書は組合ホームページからダウンロードできます。

愛印工組

「中小企業メンタルヘルス
対策取組事業」について

セミナー8月21日/9月6日開催

理事会でも報告しましたように、愛印工組では、愛知県から「中小企業のメンタルヘルス対策取組支援事業」を受託し実施することになりました。どのような事業なのか具体的に報告します。

事業の背景及び経緯について、「近年、経済・産業構造が大きく変化する中で、労働者の受けるストレスは拡

大する傾向にあり、県内の7割以上の労働者が精神的なストレスを感じている。また、年間の自殺者数が全国で3万2千人、本県でも1千5百人を越える中で、その約3割を勤労者が占めている」と現状を示し、さらに、「自殺者の多くが、直前には、うつ状態になるといわれていることから、メンタルヘルス対策は非常に重要であり、とりわけ身近な職場におけるメンタルヘルス対策は、効果的であるといわれている」と、その必要性を説いています。

また、事業の目的については、「中小企業におけるメンタルヘルス対策を進めるため、県内事業協同組合などから1団体を選定し、企業間連携の一つのモデルとして、

オフィスに店舗に工場に、「LED照明」をご提案いたします。

私たちは、
地球にやさしい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。



株式会社 **アクス**

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号

販賣本部 TEL:052)220-5511 FAX:052)220-5522
LED事業部 TEL:052)220-5518 FAX:052)220-5526
<http://www.axuas.jp> / E-mail: info@axuas.jp

「LED照明器具」の販売を始めました。

「LED照明」は地球環境にやさしい照明です。

聞いてはいるがよく判らないという方のために、
本社1階にショールームを開設いたしました。

ぜひ一度、体験して下さい。

オフィス、店舗、倉庫、工場の照明をはじめ、
ディスプレイや電飾看板にも使えます。
必ずやお客様へのヒントがそこにあるはずです。
心よりお待ち申し上げます。



傘下中小企業の支援を行う仕組み作りを構築し、他の中小企業団体への普及を図る」としています。

以上のことから、今回、当組合が事業の委託を受け、中小企業のメンタルヘルス対策の取組を推進することになりました。

委託業務内容は、次の3つの柱からなります。

(1)メンタルヘルス対策の資料の作成及び配布／メンタルヘルス対策の専門家のアドバイスを受けて、各種メンタルヘルス対策の情報を掲載した資料を作成し配布する。作成時期は平成24年8月、作成部数400部。

(2)メンタルヘルス対策セミナーの開催／メンタルヘルス対策のための管理監督者や人事労務担当者向けの研修会(セミナー)を企画・開催する。開催回数は2回、参加目標企業数60社以上。

(3)メンタルヘルス対策の専門家の派遣／メンタルヘルス対策支援を行うため、臨床心理士、社会保険労務士などの専門家を12回派遣する(同一企業への派遣は2回を限度とし、専門家は各回1人とする)。専門家の派遣は1回につき概ね2時間。

実施後、活動結果報告会を行い、モデル事業に取り組んだ団体及び助言者が県内の中小企業協同組合などに対し、成果の報告を行い、中小企業協同組合への企業間連携の取組の普及啓発を図ることになっています。

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考
8月21日(火) 9月6日(木) 両日とも 15:00~ 17:00	事業・行事 心のサインを見逃すな! ～企業におけるメンタルヘルス対策～ ところ メディアージュ愛知 3階大会議室 参加費:無料 講師:齊藤政彦氏(大同特殊鋼統括産業医) 定員:各日30名 申込期日:8月10日(金) ※定員に達するまで受け付けます。
8月28日(火) 16:00~18:00	事業・行事 アドビ契約更新 説明会 ところ メディアージュ愛知 会議室
9月20日(木) ～ 9月22日(土)	事業・行事 2012全日本印刷文化典 北海道大会 北の大地から始まる、ソリューション・プロバイダーへのへの道 ところ 札幌パークホテル 9月20日(木):記念ゴルフ大会(札幌ゴルフ倶楽部 輪厚コース) 9月21日(金):記念式典・全印工連メッセージ 記念講演:テーマ「やらなければゼロ!新たな可能性を創造するまちへ!」講師:夕張市長 鈴木直道氏 9月22日(土):全印工連フォーラム エキスカーション 締切済
9月24日(月) ～ 9月27日(木)	事業・行事 印刷業界の新人社員研修会 ところ メディアージュ愛知及びウイルあいち ※4月に開催いたしました基礎研修のフォローアップ研修になります。新たに参加される方を各講座単位で、募集中です。http://www.ai-in-ko.or.jp ※新人社員向けの内容ですがどなた様でも受付けさせていただきます。
9月30日(日)	事業・行事 従業員・家族合同レクリエーション大会 ところ 掛川花園・掛川城・城下町ウォーキング 参加費:大人3,500円(中学生以上) 子供2,500円 定員:240名(支部でのバス貸切1台につき105,000円) 申込期日:8月31日(金)

■メンタルヘルス対策セミナーの開催

「心のサインを見逃すな!～企業におけるメンタルヘルス対策～

※開催日時:8月21日(火)/9月6日(木)の2回(両日とも開催時間は15時～17時、同じ講師、同じ内容)

※講師:齊藤政彦氏(大同特殊鋼統括産業医(兼)星崎工場研究開発本部産業医/労働衛生コンサルタント/星崎診療所所長)

※開催場所:メディアージュ愛知3階大会議室

※参加費:無料

※定員:30名

※問合せ先:愛印工組TEL052(962)5771(担当:勝野)

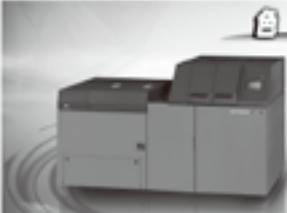


コニカミノルタに全てお任せください。

大評判

Giving Shape to Ideas

白校正



Digital Konsensus Premium
Ultimate Edition

デジタル印刷



Folbaird AQUA

環境対応プレート

ケミカルレスCTPシステム



bizhub PRESS C7000

環境対応プレート



BLUE EARTH

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 デジタルイメージング事業部 中部営業部 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上ビル5階506号室 TEL. 052-229-4624(代)

光文堂「第49回光文堂新春機材展」出展申込を開始

機材展開催日は1月23(水)、24(木)の平日開催

(株)光文堂(讃岐秀昭社長)新春恒例の「光文堂新春機材展」の出展申込を開始した。平成25年の新春機材展は、会場の都合により1月23日(水)、24(木)の2日間にわたり名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)において開催される。

中部地区最大級の印刷機材展として毎年1月に開催される同展は、今回で49回目の開催を迎える。

昨年も最新の印刷・製本関連の機材資材が一堂に展示され、印刷業界の抱える各種課題を解決するソリューションが披露され、会期中には東海三県はもとより東京・大阪・九州などから1,880社7,700人が来場した。

第49回を迎える今回も最新の印刷・製本関連機材資材が数多く展示され、印刷企業の経営基盤を確立する

ためのヒント、将来に向けた設備計画の方向性を模索する場となることが期待される。

【開催概要】

▼会期/平成25年1月23日(水)、24日(木)

▼会場/名古屋市中企業振興会館(吹上ホール)

▼出品機種/プリプレス・印刷・製本機械及び関連各種機器・資材、情報処理・複写機及び関連各種機器・資材、紙加工機・包装・運搬機械及び関連各種機器・資材。

▼展示様式/床上展示・間口3m×奥行3m×高さ2・4m。

▼予定小間数/300小間

【問合せ先】

光文堂「第49回新春機材展」事務局 電話052(331)4113



印刷機材協会、中部フォーム印刷工業会、東海グラビア印刷協同組合。

定価は、1冊1,000円(消費税込み、送料別)で販売。申し込みは、愛知県印刷工業組合、あるいは、(有)つるぎ出版社(電話052-508-4633)まで。

事務局だより

■朝早くから夕方まで、小学校の校庭から元気な声が聞こえてくるのが、ある日突然なくなりました。それもそのはず、学校は夏休みになりました。また、熱い熱い夏の到来がきました。■木野瀬丸が船出し1ヶ月あまり経ちました。「健全な業界になるためには、経営の見える化にあり」と、MIS(経営情報化システム)の推進に全力投球されている。木野瀬理事長は昭和26年生まれの子。若さとバイタリティーを武器に、業界の牽引役としての期待は大きなものがあります。■理事会でも触れましたが「中小企業のメンタルヘルス対策取組支援事業」が本格始動しますので、ご期待ください。

■愛知県印刷産業団体連絡会の2012年度版会員名簿完成

2年に1度発行している愛知県印刷産業団体連絡会(18団体)の名簿が完成した。スポンサーへの配布が終わり次第、順次18団体の組合員の皆さん方に配布を始める予定でいる。

今回の名簿は、B5判96ページの体裁で、多くのスポンサーの協力を得て完成した。愛知県下における印刷関連18団体の会員(約800社)を網羅しており、全国的にもめずらしく、

価値のある名簿となっている。

網羅してある18団体は、愛知県印刷工業組合、中部グラフィックコミュニケーションズ工業組合、愛知県製本工業組合、(社)日本グラフィックサービス工業会愛知県支部、名古屋洋紙同業会、愛知県紙器段ボール箱工業組合、東海北陸シーリング印刷協同組合愛知三重支部、名活会、中部印刷製本機械工業会、名古屋印刷インキ協会、愛知県紙加工業協同組合、名古屋紙製品工業協同組合、中部光沢化工紙協同組合、愛知県トムソン工業協同組合、愛知県スクリーン・デジタル印刷協同組合、中部



あいの印刷

No.489

平成24年8月10日発行

発行人 木野瀬 吉孝

編集 組織・共済委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号

TEL <052> 962-5771

FAX <052> 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp